



「じいちゃんのおじいさんのたからもの車」
皆野小2年

福島 湧貴さん
ゆうき



(評) 大きな消防車をダイナミックに描きました。力強い感じがよく表現されています。

「わにのおじいさんのたからもの」
皆野小2年

矢野 花音さん
かのん



おにの子は、わにのおじいさんのところへもどつてくると、こう話しかけました。「おじいさん、ぼくはきれいな夕やけのたからものを見ました。あんなにきれいなたからものとは思っていませんでした。」
わにのおじいさんは、またびつくりしてこう言いました。「えっ。きみはそれがたからものだと思っていたのかい。わしのたからものとはぜんぜんちがう。」
おにの子はこう言いました。「そうだったんですか。でもぼくにとつてはあれがたからものですよ。」
おにの子は、夕やけをたからものとかんちがいしていたようです。
「わしのたからものは、そんなものじゃない。こんどは、わしといっしょに×じるしのところへまたいこう。」
そう言って×じるしのところまでたどりつきました。そこにはなんとおじいさんも口で言えないほどうつくしくきれいな夕やけがあったのです。

そのときおじいさんは心の中でおもいました。ほ、ほんとだ。もしかしたらわしのたからものよりもきれいなものかもしれないーと思いました。
でも、その夕やけはすぐにしずんでしまいました。
(評) この作文は、教材名「わにのおじいさんのたからもの」のお話の続きを考えたものです。最後の一文に、夕やけはとても美しいからものだけれど、一瞬で終わってしまうという、淋しさが伝わってきます。

皆野小6年

川田 萌乃さん
ほの

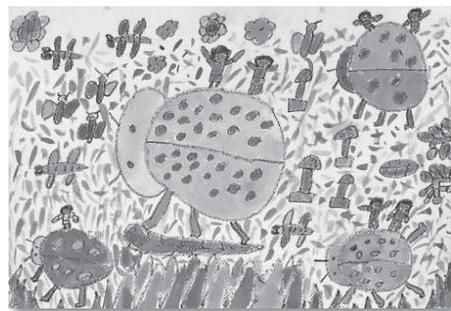


この道や
行く人なしに
秋の暮
川田萌乃
小六

(評) 文字の大きさを考え、点画のつながりに気をつけて、書くことができました。

「てんちゃんとうわたし」
国神小2年

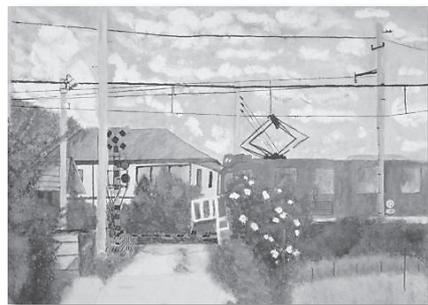
山田 沙羅さん
さら



(評) てんとう虫がカラフルにかけました。みんな、とつてもたのしそうです。

「かける夏」
皆野中3年

山下絵美菜さん
えみな



(本人のコメント) 部活の帰り道、ふと見上げると雲が美しく、一目ぼれた風景です。

三沢小3年

河村 怜音さん
れお



にじ
河村怜音
小三

(評) カブよく、バランスもよいです。一筆一筆でいねいに書けています。